

「話そう!語ろう!わが家の約束」運動の実践事例報告書

瑞浪市立瑞浪小学校



瑞浪小学校育友会は、年間2回、瑞浪中学校のテスト週間に合わせて、全校で「メディアコントロール推進週間」に取り組みました。学校ではこの取組に合わせて図書館祭りを開催し、読書活動を推進しました。その結果は、学校のホームページで閲覧できるようになっています。今年度、第1回目と比べ、第2回目は、取組の人数が100人も増えました。先進的な在宅型の取組事例として紹介いたします。

(第1回 6月16日~6月20日)
メディアコントロール推進週間

(第2回 11月10日~14日)
メディアコントロール推進週間

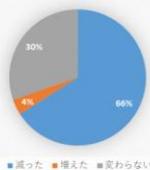
取組人数 382人

100人増加

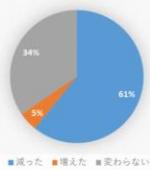
取組人数 482人

☆メディア使用時間は、いつもの使用時間と比べてどうでしたか？

【低学年 いつもの比較】

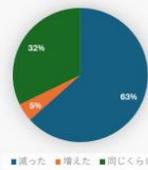


【高学年 いつもと比べて】

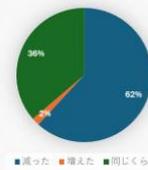


☆メディア使用時間は、いつもの使用時間と比べてどうでしたか？

【低学年】いつもの比較



【高学年】いつもの比較



瑞浪小学校は、Googleフォームを使用して、この取組のアンケートを集計しています。児童の回答、保護者の回答などを自動でデータ化してもらえるので、分析・考察に時間をかけることができます。結果として、どちらの取組でも6割の児童がメディアを使用する時間が減ったことがわかりました。

家族から

意識することの大切さがよく分かった。この情報があふれる時代に動画等メディアを全く断つことは難しい。だからこそ、親が出て、管理することも大事だと思った。

家族から

親子でメディアコントロールをしようとするよい機会になった。

子どもから

テレビを消してスマホも見ないで勉強に集中して取り組んだので、割り算がわかるようになった。

子どもから

・宿題がテレビをつけている時より、(見ないでやったほうが)早く終わった。
・(メディアコントロール)意識すればできるんだと思った。

・第2回目の取組に向けて変更した点は以下のようです。【これが取組人数の増加につながったのかも?】

- (1) 第1回目は紙とデータ配付の二通りの方法で、取組を呼びかけました。第2回目は、紙を配らずにデータ配付だけの取組としました。保護者にはメールでQRコードを送信し、アンケートに答えてもらう形式としました。
- (2) 2回の取組とも図書館祭りの取組とタイアップしました。特に第2回目は家庭教育委員の保護者が「おすすめの本」のポスターを作成・掲示し、読書の啓発に努めたそうです。
- (3) 家庭教育委員長が取組について子供向けのお話を録音したものを、給食の時間に校内放送で流し、全校に啓発しました。